



すずき けいいちろう

(故) 鈴木 桂一郎 氏

生年月日 大正 2 年 9 月 10 日生

住 所 田辺市北新町

大正 2 年 (1913 年) 9 月 10 日、西牟婁郡田辺町 (現田辺市北新町) で生まれる。

立命館大学経済学部を卒業後、昭和 21 年 (1946 年) 3 月に和光商事株式会社を設立、自動車関連商品の販売を中心とした事業を営む。昭和 40 年 (1965 年) 4 月、さらなる発展を期して三菱自動車販売株式会社のトラック・バスの県下特約販売店となり、平成 15 年 (2003 年) 現在の和歌山三菱ふそう自動車販売株式会社の礎を築く。以後、着実に業績を伸ばし、和歌山県下自動車業界の中でゆるぎない地位を確立、その間多くの役職を歴任し、自動車業界の発展に寄与する。

また、昭和 51 年 (1976 年) 4 月からは田辺商工会議所会頭を務め、その発展に尽力するとともに、商業の近代化などにも力を傾け、地域経済の振興に大きく貢献する。

その傍ら、氏は、田辺に数々の史跡や伝承が残る武蔵坊弁慶の研究に取り組み、出雲や東北をはじめ全国各地に点在する弁慶の伝承地を訪れて、実際にその地の史跡や伝承を見聞きするとともに、弁慶に関する多くの物語や研究論文、地方資料等の書物を取りそろえ、さらに各地の研究者や国立国会図書館などからも資料を集め、そうした現地調査と収集資料から「弁慶は実在していた」という研究結果を発表するなど、長年にわたり弁慶に関する研究に情熱を傾ける。

氏が収集した書物などの数々の資料は「弁慶文庫」として市立図書館に寄贈され、武蔵坊弁慶に関する貴重な資料として、平成 15 年 (2003 年) 現在も多くの人々に活用されている。

一方、昭和 50 年 (1975 年) に源義経東下り絵巻などの調査のため岩手県平泉町の中尊寺を訪問したことを契機に、その後も、源義経公東下り行列への参加や中尊寺境内への「弁慶の森」の寄贈など、同町との間で数々の交流を重ね、弁慶生誕の地である田辺市と終焉の地である平泉町との友好関係の醸成に力を注ぎ、昭和 57 年 (1982 年) 5 月の田辺市と平泉町との姉妹都市提携に大きな役割を果たす。

## 第 34 回 (平成 15 年)

また、長年の調査、研究に基づいて「弁慶まつり、武蔵坊弁慶・熊野水軍出陣行列」を提案、昭和 62 年 (1987 年)、自ら実行委員長を務め、「武蔵坊弁慶・熊野水軍出陣 800 年祭『第 1 回弁慶まつり』」の開催に尽力し、紀南最大級のイベントの創設に大きく貢献する。

そのほか、かつて当地方の特産物であった紀州生まつ松煙の間屋、新仁商店の四代目当主として、昭和 30 年 (1955 年) 代半ばまで伝統の技法を守り続けるとともに、平成 5 年 (1993 年) には、その歴史と技法を後世に伝えるため、絵や写真を配してまとめた小冊子「紀州生まつ松煙」を発刊、紀州生まつ松煙に関する貴重な資料として評価されている。また、曾祖父の実弟で墨の研究に生涯をかけて梅仙墨を創始した墨匠、鈴木梅仙の顕彰にも力を傾ける。

長年にわたり武蔵坊弁慶の研究に情熱を傾けるとともに、それに加えて弁慶を通じた地域振興に尽力し、本市の文化の振興、さらには地域の発展に果たした功績は誠に大きい。

### (略 歴)

昭和 14 年 (1939 年) 3 月	立命館大学経済学部卒業
昭和 14 年 (1939 年) 4 月	トヨタ自動車工業株式会社
昭和 21 年 (1946 年) 3 月	和光商事株式会社取締役社長
昭和 40 年 (1965 年) 4 月	和歌山三菱ふそう自動車販売株式会社取締役社長
平成 3 年 (1991 年) 4 月	和歌山三菱ふそう自動車販売株式会社取締役会長

### (その他)

田辺商工会議所会頭  
和歌山県商工会議所連合会副会長  
和歌山県経営者協会副会長  
和歌山県自動車整備振興会副会長  
田辺市都市計画審議会委員

### (受賞歴)

昭和 54 年 (1979 年) 5 月	和歌山県知事表彰 (産業功労)
昭和 59 年 (1984 年) 春	勲五等双光旭日章 (産業振興功労)
平成 6 年 (1994 年) 5 月	田辺市市政功労者表彰 (産業功労)